



ジェンダー平等/多様性と調和の推進に向けた 取組について

2021年5月26日

本日のご報告事項 (多様性と調和・リスタート&アクション)

■ 情報発信

○朝日新聞社主催オンラインフォーラム「Think Gender 東京五輪にできること」

橋本会長

- ・国民の皆様へのご心配、ご不安に対する受け止め、安全・安心第一の大会準備
- ・アスリートへの思い
- ・ジェンダー平等・多様性と調和の取組による、組織委員会内の変化 など

小谷SD

- ・有識者と意見交換、組織委員会の取組を発信

○その他

- ・パートナー企業取組事例共有会
- ・コミュニケーションマナー集
- ・東京2020 NIPPONフェスティバル

※詳細は参考資料参照

■東京2020宣言（仮称）

5月14日（金） 意見交換会を実施

参加者 荒木田副会長、大日方理事、白石理事、白波瀬理事、ゼッターランド理事、高橋理事、谷本理事、林理事、日比野理事、矢野理事、來田理事 等

（主なご意見）

- ・ 宣言名にD&Iやダイバーシティを入れたほうが良い。
- ・ 宣言名は目指す社会を示すものが良い。
- ・ 理念にパラリンピックの要素も入れるべき。
- ・ 発信時期を慎重に検討すべき。 等



いただいたご意見を反映

- 先日のCocomにおいて、IOCが取組を高く評価。今後緊密に連携していくことを確認
- 東京2020宣言（仮称）の実施時期については、最も効果的な時期をIOC等と今後協議

※詳細は参考資料参照

【以下、参考資料】

5月10日（月）パートナー企業取組事例共有会

- パートナー企業と課題を共有し、レガシーに繋げることを目的とする
- 各社より、40以上の事例をご紹介いただいた中から、代表して以下の7社がD & I 等に関する取組事例を発表
- 小谷スポーツディレクター、大日方理事、谷本理事、田口アスリート委員が参加し、各社と意見交換
- メディア公開

（各企業の発表事例項目）

企業名	内 容
コカ・コーラ	日本コカ・コーラ株式会社のダイバーシティ&インクルージョン
P&G	経営戦略としてのEquality & Inclusion 「多様性」「平等な機会」「インクルージョン」が組織を変える
ENEOS	東京2020パラリンピック応援社内施策『ENEOSサポーターズ』
東京海上	アンコンシャス・バイアスへの取り組み
日本生命	Diversity & Inclusion ～多様な人材の多彩な活躍の推進～
LIXIL	大会会場施設での誰もが使いやすい住宅設備展開
Panasonic + 学生	ダイバーシティ&インクルージョンの取り組みについて



コミュニケーションマナー集～Diversity & Inclusionのために、今からできること～

- 職員が体験した事例をまとめた『気づき』や『学び』のための教材
- 大会後は一人ひとりが得たものを出向元や新たなフィールドで実践しレガシーに

東京2020 NIPPONフェスティバル主催プログラム「共生社会の実現に向けて」

■ ONE -Our New Episode- Presented by Japan Airlines

<コンセプト>

個々(ここ)からはじまる、新しいひとつの物語。

一人ひとり異なる個性をもつ人の物語が、集まり、交じり合い、つながり、そして共創することで、みんながひとつになるような、さらに新しい物語をつむぎだし、その物語を次代へつなぐレガシーとして引き継いでいきます。

■ Our Glorious Future ~KANAGAWA 2021~ カガヤク ミライ ガ ミエル カナガワ 2021

文化芸術各分野の最先端アーティストが、「共生社会の実現に向けて」をテーマにそれぞれの分野の枠を融解・共創して、障がい、年齢、ジェンダー、国籍に関わりなく「わたし」たちが輝ける「新しい未来の姿」を文化芸術の力により神奈川から世界に発信する共生イベントを開催

<概要>

○開催日時2021年8月14日(土)、15日(日)

※ 一部展示は、8月10日(火)~22日(日) 予定

※ オンラインでも配信予定

○開催場所等

①横浜市西区紅葉ヶ丘文化ゾーン

(神奈川県立音楽堂、神奈川県立青少年センター) ほか

- ・ダンス部門ディレクション 森山 開次
- ・演劇部門ディレクション 多田 淳之介
- ・アート部門キュレーション 藤川 悠

②神奈川県民ホール

- ・ギャラリー 前田 正博(陶芸)
- ・小ホール 三橋 貴風(尺八)

○実施体制

主催：神奈川県、東京2020組織委員会



©畑亮

■ MAZEKOZEアイランドツアー

ジェンダー・年齢・国籍・障がいの有無など様々な個性・特性のあるアーティストによるアートやパフォーマンス。それらが繋がり交じり合う島々を巡り、「まぜこぜ=多様性」を可視化。

この旅によって、視聴者は自分と同じ人などひとりもないということに気づくことになり、共生社会の実現にむけた「きっかけ」「出会い」「共鳴・共感」へと誘う物語

<概要>

○開催日時：8月22日(日) 16時から(予定)

○開催場所：オンライン(ライブ配信予定)

○総合構成・演出・総指揮：東ちづる

○参加アーティスト：

平原 綾香(ミュージシャン)

レスリー・キー(写真家/映像監督)

マメ 山田(日本一小さい手品師)

大前 光市(義足のダンサー)

かんばら けんた(車椅子ダンサー)

佐藤 ひらり(全盲のシンガーソングライター)

森田 かずよ(ダンサー/俳優)

他、総勢50名以上のアーティスト



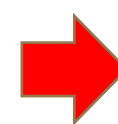
東京2020宣言（仮称）

これまでのご議論

- 第42回理事会（3月2日）
- 人権労働・参加協働ワーキンググループ（3月8日）
- 第43回理事会（3月22日）
- アスリート理事等意見交換会（4月16日）
- 人権労働・参加協働ワーキンググループ（4月23日）
- 第44回理事会（4月26日）
- 新理事・アスリート理事等意見交換会（5月14日）

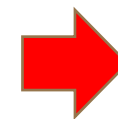
いただいた主なご意見

- 宣言名にD&Iやダイバーシティを入れたほうがよい。
- 宣言名は目指す社会を示すものがよい。



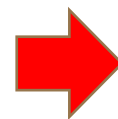
分かりやすく
的確な宣言名に

- コロナ禍の分断・差別に触れるべき。
- 理念にパラリンピックの要素も入れるべき。



ご意見を反映

- 大会に様々なご意見がある中で、宣言を押し付けることにならないか。
- 発信時期を慎重に検討すべき。



適切な時期の
宣言に向けて
引き続き検討

1 目的

東京と日本が真の多様性と包摂を備えた社会へと変わり、次世代に引き継がれることを目指し、大会を契機として、確かな一歩を踏み出すための行動を宣言

2 対象

- ・ **組織委員会（組織・職員）**が率先して宣言するとともに、アスリート・競技団体・パートナー企業・大会ボランティアなどの大会関係者に声かけ
- ・ 組織単位、個人単位のいずれも宣言ができるようにする。

3 宣言のイメージ

- ・ 宣言者は、自ら目標・取組を考えて設定
- ・ 組織委員会が用意するアクションメニューから選択も可能

4 発表方法

- ・ 宣言の発表方法は宣言者が自由に選択（例：ウェブサイトに掲示、記者発表）
- ・ 大会後に振り返ることを前提に宣言。宣言の進捗の発表も宣言者が選択

宣言の構成

緑字は前回からの変更点

(表紙)

(宣言本文)

東京2020D&Iアクション -誰もが生きやすい社会を目指して-

東京2020大会は、その大会ビジョン「スポーツには世界と未来を変える力がある。」の基本コンセプトとして「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」を掲げています。「東京2020D&Iアクション -誰もが生きやすい社会を目指して-」も、これらの考えに基づいています。

新型コロナウイルス感染症による新たな差別や格差の拡大と
いった社会の分断が深まる中、大会に参画する多様な個性を持った多くの人が、自分らしさを発揮して、違いを認め合い、違いを活かしながら協力することのすばらしさを改めて認識する場が、東京2020大会です。

東京2020大会を契機として、私たちの社会と未来に向けて何ができるかを考え、大会後も実践していくものとして、「東京2020D&Iアクション -誰もが生きやすい社会を目指して-」を宣言します。

東京2020D&Iアクション -誰もが生きやすい社会を目指して-

私たち一人ひとりが、人種、肌の色、性別、性的指向、障がい、言語、宗教、政治的又はその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別がなく、互いを認め合い、誰もが自分らしく生きられる**共生社会**を目指します。

組織名

宣言者がアクションを記入
(組織委員会が提供するアクション
メニューからも選択可)